

共 架 工 事 基 準（交通安全施設）

1 適用範囲

この共架工事基準（交通安全施設）は、中部電力パワーグリッド株式会社（以下、「当社」といいます。）の電柱に、当社所定の共架契約約款の定めに従うことを確約した共架者が所有する交通安全施設を共架する場合の工事に適用するものとします。

2 関係法令の遵守

共架者は、共架工事の実施にあたり、この工事基準のほか電気設備に関する技術基準を定める省令、電気設備の技術基準の解釈（以下、「電技解釈」といいます。）、道路法および道路交通法およびその他関係法令を遵守するものとします。

3 共架物件

（1）共架物件の種類

共架物件は、交通信号機、感知器、信用用ケーブル、通信用ケーブル、道路標識、交通事故自動記録装置用ケーブルおよびこれらの付属設備とします。

共架者の制御機器は、原則として当社の電柱には共架しないものとします。ただし、共架者所有柱へ制御機器を施設することが技術的に困難な場合で当社の承諾を得たときは、この限りではありません。

共架者の地中ケーブルは、原則として当社の電柱には立ち上げないものとします。ただし、共架者所有柱へのケーブル立ち上げが技術的に困難な場合で当社の承諾を得たときは、この限りではありません。

（2）共架物件の設置数

共架電柱に共架できる共架者の交通信号機または道路標識は、原則として共架電柱1本につきいずれか1個とするものとします。ただし、周辺の状況等によりこれによれない場合で当社の承諾を得たときは、この限りではありません。

4 離隔距離

共架者は、共架者が施設する共架物件と、当社所有の特別高圧配電線、高圧線、低圧線、変圧器および通信線に対して、次の離隔距離を確保するものとします

当社所有の設備		当社所有の設備が施設された共架電柱の取付点
特別高圧配電線		2．0 m以上
高圧線	絶縁電線	1．0 m以上
	ケーブル	0．5 m以上

低圧線	絶縁電線	0.6 m以上
	ケーブル・高圧絶縁電線	0.3 m以上
低 圧 引込線	絶縁電線	0.3 m以上
	ケーブル・高圧絶縁電線 特別高圧絶縁電線	0.15 m以上
変圧器底部		0.6 m以上
通信線		0.3 m以上

(注1) 本表は、共架者の承諾を得た場合の離隔距離を示す。

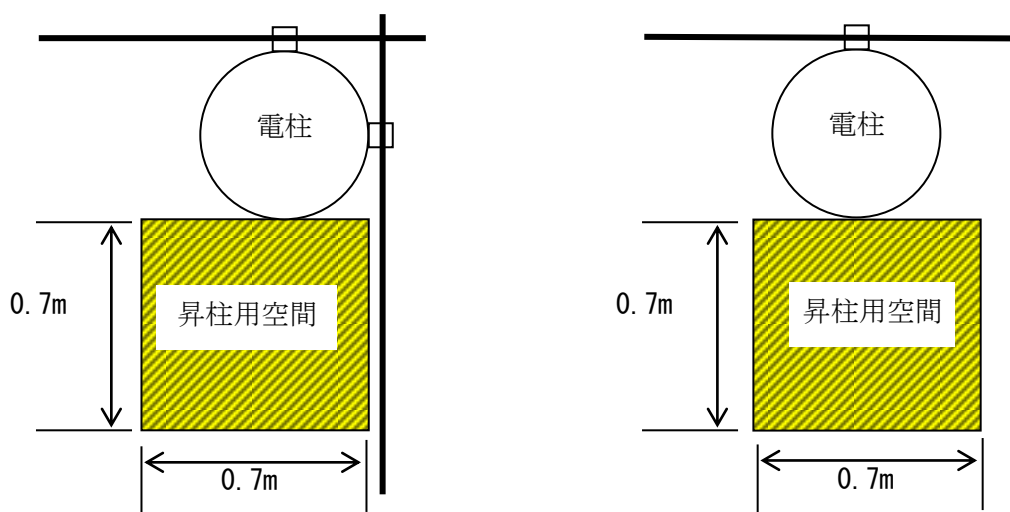
(注2) 共架物件の電源線と通信線とは、直接接触しないよう施設する。

(注3) 共架者の通信線を堅ろうに固定した保護管に収納した部分は対象外とする。

5 昇柱空間の確保

共架者は、共架物件の施設において、次に規定する昇柱空間を確保するものとします。

- ① 底辺を一边0.7 mの正方形とし、共架電柱に沿って地表面から共架者の最上位の共架位置までの直方体の昇柱空間（図1参照）を確保すること。
- ② ①の昇柱空間内には垂直配線を施設しないこと。ただし、保護管その他の被覆により保護され、かつ共架電柱の表面に密着させて取り付けられる場合はこの限りではない。



〔図1〕

6 共架物件の施設方法

共架電柱における共架物件の施設方法は、次によるものとします。

- ① 共架物件は、原則、以下の共架電柱には施設できないものとする。ただし、共架物件が信号用ケーブル、通信用ケーブルおよび交通事故自動記録装置用ケーブル（以下、「通信ケーブル等」という。）のみの場合および当社の保守運用等に支障とならないと当社が判断した場合はこの限りではない。

- ・開閉器柱
 - ・変圧器柱
 - ・ケーブル立ち上がり柱
 - ・その他当社の指示する柱
- ② 共架物件は、4（離隔距離）および5（昇柱空間の確保）を満足し、かつ他の共架設備および電柱広告等に支障を及ぼさない位置に施設する。
 - ③ 共架物件の施設位置は、原則として共架電柱の道路側とする。
 - ④ 交通信号機および道路標識は、関係法令に定める最低地上高以上かつ原則として他の通信線の下部に堅固に施設する。
 - ⑤ 通信ケーブル等は一束化して道路法等で規定される最低地上高以上かつ当社所有の設備（特別高圧配電線、高圧線、低圧線、変圧器および通信線等）の下部に堅固に施設する。
 - ⑥ 共架物件は、当社の作業者の電柱昇降および作業等に支障とならないように、共架電柱表面から0.3m以上離して施設する。
 - ⑦ 共架物件の工事施工においては、材料、工具類の落下防止措置を確実に実施する。
 - ⑧ やむを得ず制御機器を取り付ける場合は、公衆への危険のおそれのない位置に施設する。

7 垂直配線の施設

共架者は、原則として当社の垂直配線のある共架電柱に共架者の垂直配線を施設してはならないものとします。ただし、施設形態上やむを得ない場合であって、あらかじめ当社の承認を受けたときは、当社の垂直配線と共架電柱を挟んだ対向側に共架者の垂直配線を施設するものとします。なお、共架者の垂直配線は、保護管その他の被覆により保護されかつ共架電柱の表面に密着して取り付け、当社の足場ボルトの安全な使用を妨げないように足場ボルトから7cm以上離して施設するものとします。

8 接地工事

共架者の接地線と当社の接地線とは共用しないこととします。

9 標 識

共架者の通信ケーブル等には、共架者の管理部署名を記載した標識を2～3径間ごとに道路（車道）側の地上から確認できる位置に取り付けるものとします。

共架者の通信ケーブル等の腕金等には、適当な箇所に容易に消えない方法で、共架者の名称を表示するものとします。ただし、腕金等の所有者が通信ケーブル等の標識等により明確に判断できる場合はこの限りではありません。

10 安全確保

共架者は、共架物件を断線、垂下、落下、接触等による傷害、感電、火災の危険のおそれがなく、当社および他の共架者所有の設備の工事・保守・点検・その他作業に支障がないように施設するものとします。

共架者は、共架物件の電柱への取り付けを、堅ろうかつ安全な方法により行うものとし、あらかじめ当社の承諾を得るものとします。

共架者は、当社所有の足場ボルトの機能を妨げないよう、足場ボルトと共架者所有の共架物件との垂直距離15cm以上を確保して施設するものとします。

11 装柱金物等の仕様

装柱金物（腕金、アームタイ、バンド等）の仕様は、次によるものとします。

- ① 当該施設場所において通常想定される気象の変化、振動、衝撃その他外部の環境の影響を考慮し、十分な強度および耐久性を有し、共架物件を共架電柱に堅ろうに取り付けることができること。
- ② 作業性に優れ、安全かつ容易に取り付け、取り外しができること。
- ③ 当社および他の共架者の工事、保守、点検およびその他作業に支障および危険を及ぼすおそれのないこと。

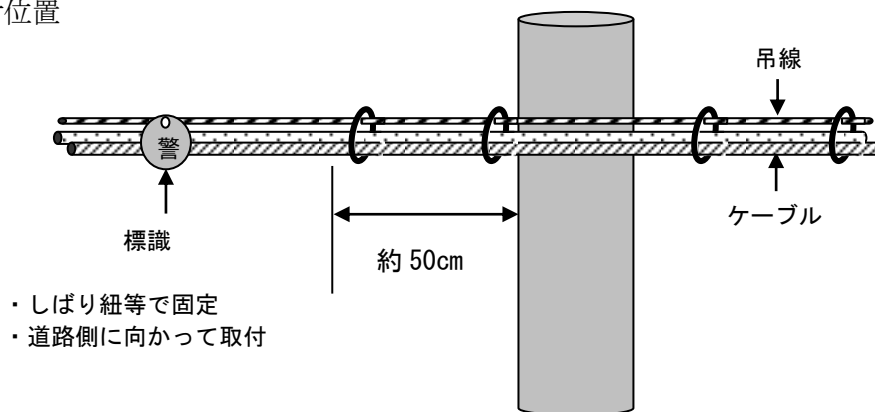
以 上

【別図：共架電柱への施設方法（取付例）】

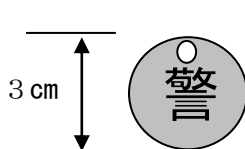
各施設形態別の標準的な施設方法を以下に示しますが、装柱金物、吊線等はそれらの施設形態において想定される荷重に十分耐え得るものを使用することとします。

1 標識の取付

（1）取付位置



（2）標識の構造



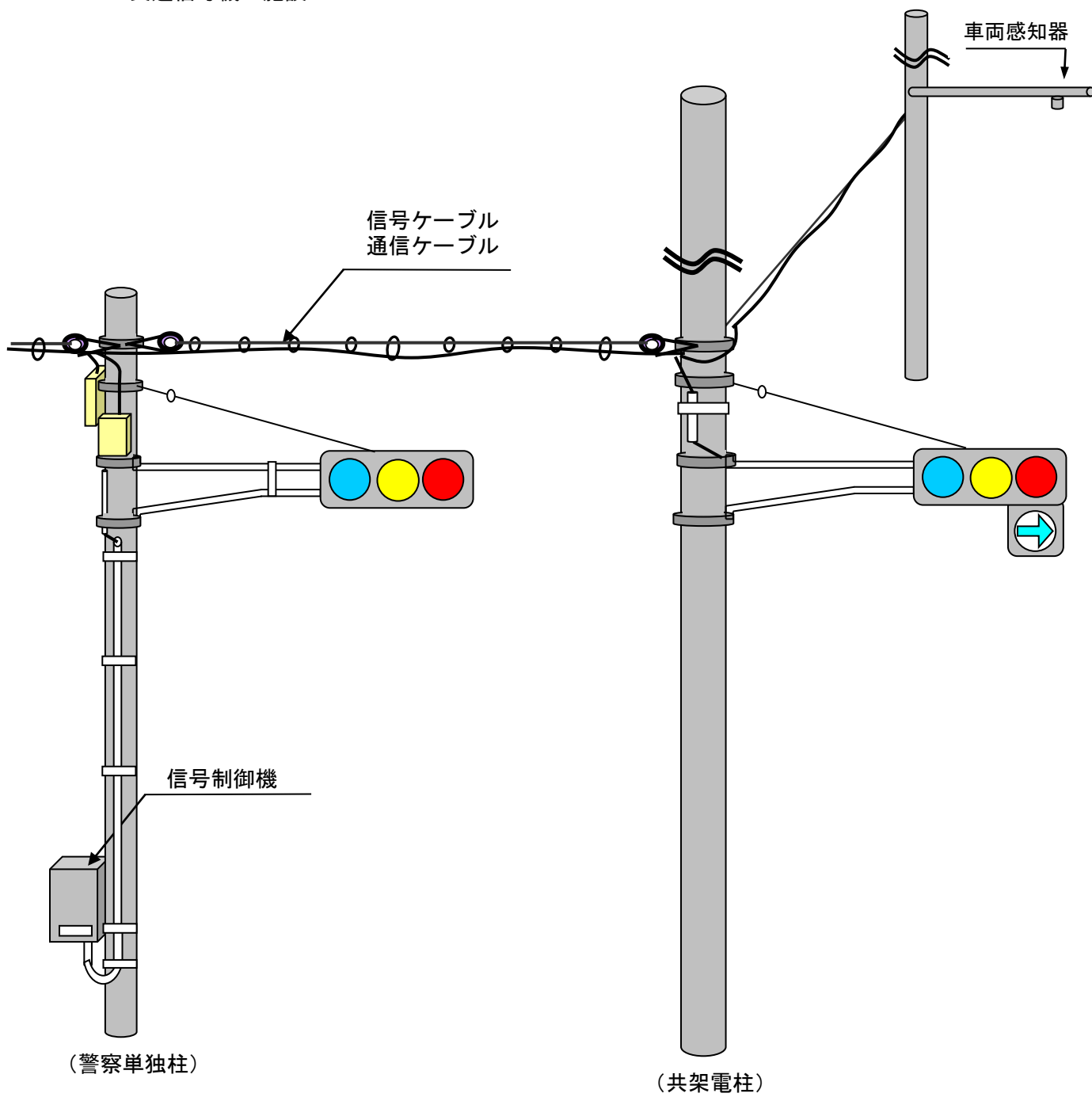
＜共架者の標準銘板＞

材質：アルミ製

色：シルバー地に黒文字で「警」と明示

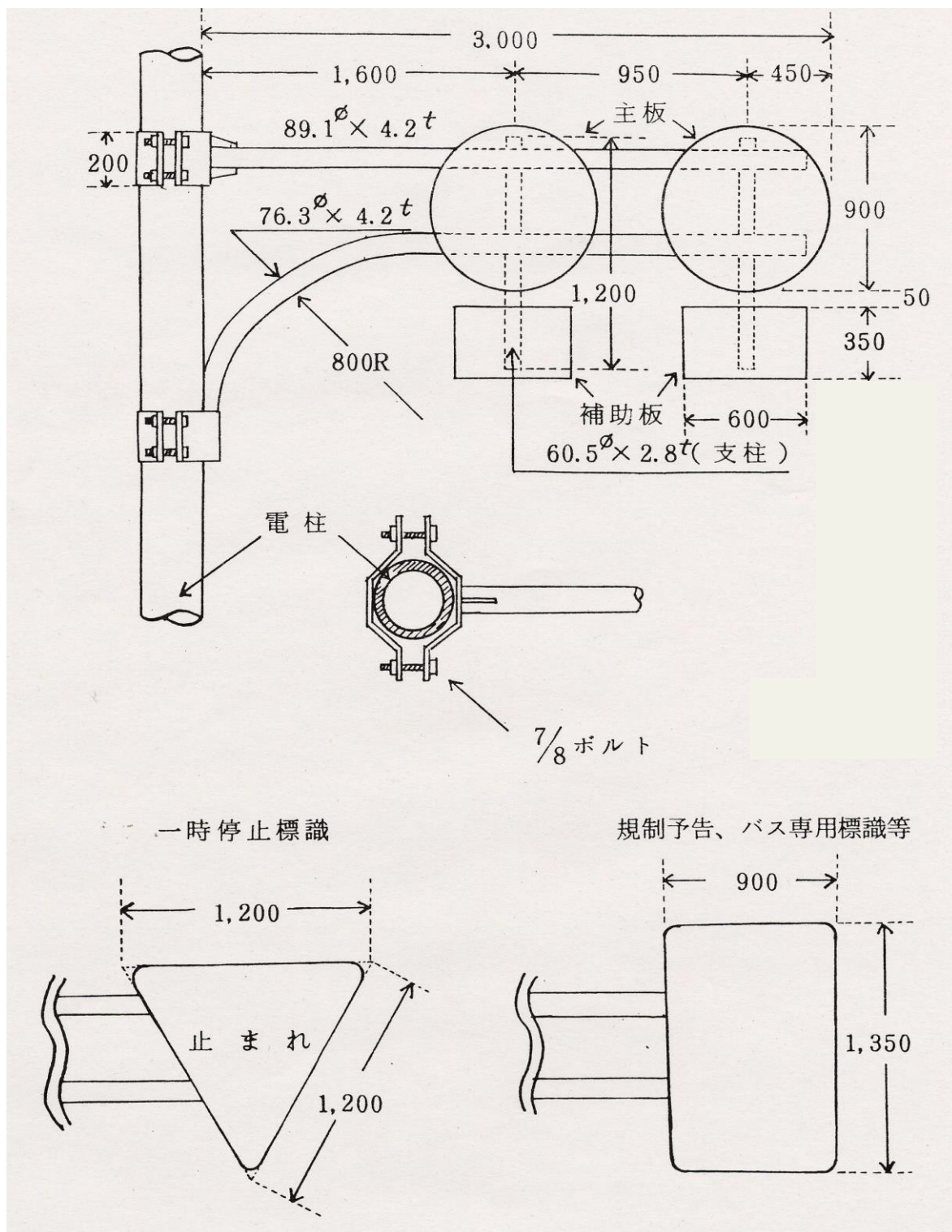
サイズ：直径 3 cm、厚さ 1 mm

2 交通信号機の施設



3 道路標識の施設

(1) 大型道路標識（電柱共架反射式）



引込線

自動点滅器

200

取付アーム

76.3×4.2^t

2500

1027

横断歩道

900

48.6×3.2^t

電柱

$\frac{7}{8}$ ボルト

一時停止

1270

止まれ

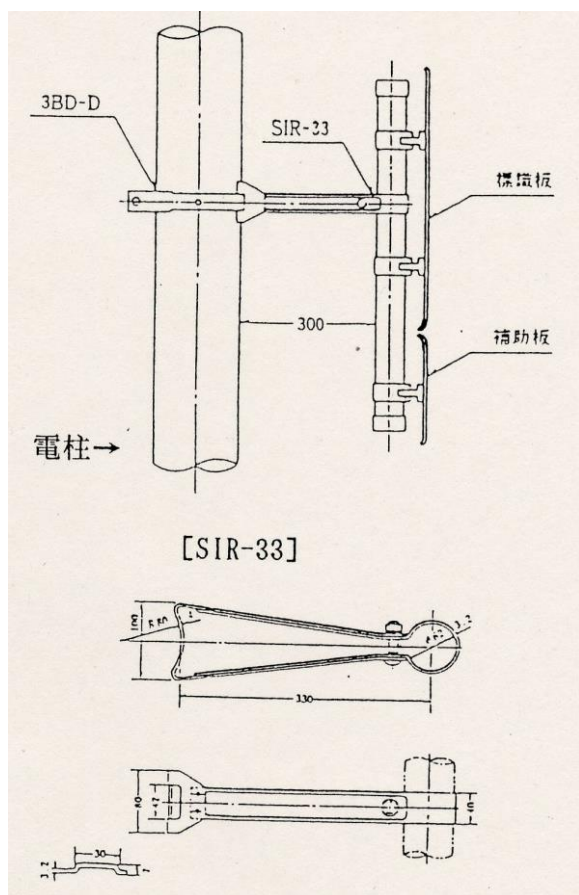
1099

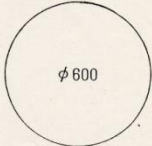

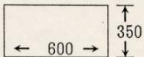
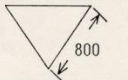
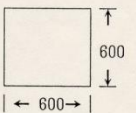
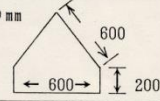
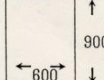
速度、はみ禁、
および 指定方向外等

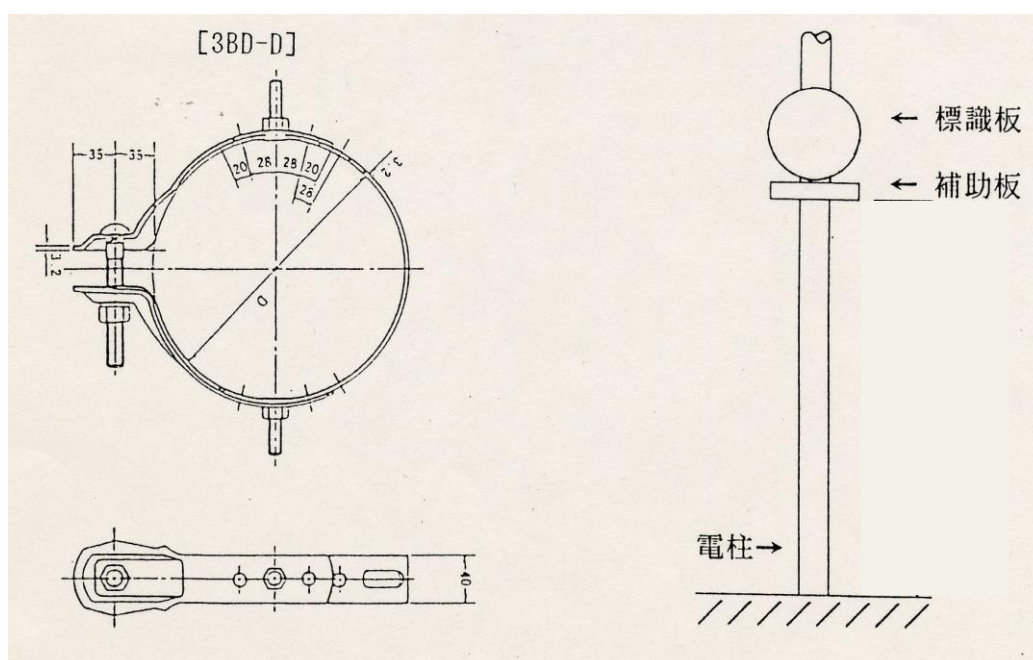
40

960

(3) 路側道路標識



形状	標識種別	規格 (単位:mm)
○	各種通行止め 車両進入禁止 指定方向外進行禁止 車両横断禁止 転回禁止 はみ出し(追越し)禁止 駐(停)車禁止 時間制限駐車区間 最高速度 各種専用 原動機付自転車の右折方法 警笛鳴らせ・警笛区間	(1) 普通板 直径600mmの円形  φ600 (2) 縮小板 直径400mmの円形  φ400
長方形	一方通行	600mm ×350mmの 長方形 
▽	一時停止 徐行	一辺800mmの 正三角形 
□	歩行者通行止 歩行者横断禁止 軌道敷地内通行可 駐車可・停車可	一辺600mmの 正方形 
五角形	横断歩道 自転車横断帯 横断歩道及び自転車横断帯	底辺及び斜辺600mm ×短辺200mmの 五角形 
長方形	規制予告	縦900mm ×横600mmの 長方形 



4 交通事故自動記録装置の施設

